

国際電気の基準

文章化された遵守すべき行動指針を全社員が正しく理解し、追求すべき目標を分かり易くした「実践の基本」をベースに行動している。

1 顧客優先

お客様の欲しい製品を正しく把握し、お納めすることによって「お客様が満足し、そしてわれわれも満足する」ということで事業計画の戦略や戦術を決めて実行している。

2 品質向上

品質といえば製品だけというイメージが固まっているので、サービスや販売さらには経営そのものまでの品質を問うものであるという、真の意味を強調している。

特に技術者が、品質改善とは創造であることを忘れないよう努めている。

3 納期厳守

自分の時間軸でなくお客様の時間軸で仕事することである。すなわち、お客様は短納期で時間軸はいつも短縮されているので、自分の時間軸をそれに合わせて仕事することである。そこに、当社としての特長ある技術や新しい工程管理技術などが生まれてくる。

4 情報の共有

とかく製造メーカーは、こういう特長ある製品は売れないはずがないなど、物事の

発想が天動説である。

お客様はもちろんのこと、社内の各部門とも必要情報を共有し迅速な行動ができるよう努めている。

要は、迅速な行動と必ず仕上げるという根性で仕事をし、気くばりという暖かい気持ちでお客様に接し、納入した製品に「お客様が喜び、そしてわれわれも喜び」という行動理念で正道を歩み続けることが、当社の企業行動指針である。

